



令和元年7月3日 第70回中国地方技術研究会 建政部門指定課題 「まちの再生」を考える

広島県庄原市東城

岡山県倉敷市

島根県出雲市

島根県松江市



岡山県倉敷市



山口県防府市



広島県広島市西区



鳥取県鳥取市



広島県広島市中区



広島県竹原市



島根県浜田市



山口県光市

「まちの再生」を考える ワークショップ報告書



山口県周南市



広島県広島市中区



山口県秋田市



岡山県津山市



広島県呉市



岡山県岡山市北区



鳥取県境港市



山口県宇部市

# 令和元年度 第70回中国地方技術研究会建政部門指定課題 「まちの再生」を考えるワークショップ 報告書

中国地方整備局建政部都市・住宅整備課では、令和元年度の中国地方技術研究会において、都市再生整備計画事業に取り組んでおられる自治体の方々を対象として、まちづくりの課題や今後の取り組み、ノウハウ等について意見交換する、「まちの再生」を考えると題したワークショップを開催しました。

まちの中心部は、人口減少の状況において地域を維持していくための地域社会の核となる重要なエリアですが、多くの都市で、中心市街地の衰退・賑わいの喪失、空家・空地の増加などといった状況が大きな課題となっています。

このような状況の中、まちの再生においては、ハード整備だけに頼らず、地域の様々な課題解決を動機として、行政の取り組みと民間のコンテンツの誘導をうまく組み合わせ、賑わいを復活させることが重要となっています。

今回のワークショップは、まちづくり担当者の皆さまに、それぞれのまちづくりエリアの状況や取り組みの課題について再認識していただき、他の自治体の方々と情報交換や議論をおこなうことで、まちづくりに対する気付き、取り組みの改善への動機を得て、まちの再生に向けさらに踏み出していただくこと、自治体間の交流につなげていただくことなどを目的として行いました。

ワークショップでは、参加者の皆さんの地域や課題に対する率直な思い、参考となる他市の取り組みなどについて、活発な意見交換が行われ、まちの再生に対する大きな刺激を得ただけだものと思います。

都市・住宅整備課として自治体の皆さんの横の繋がりの形成や、まちづくり情報の共有など、まちの再生の動機づけやスキルアップにつながるお手伝いを引き続き行っていきたいと考えています。中国地方のよりよいまちづくりの取り組みの一助になることを期待し、当日の報告を共有させていただきます。

## 【 参加いただいた自治体 】

鳥取市、境港市、島根県、松江市、大田市、江津市、雲南市、津和野町、岡山県、岡山市、倉敷市、広島県、竹原市、三原市、尾道市、福山市、東広島市、廿日市市、北広島町、山口県、宇部市、山口市、岩国市、柳井市、周南市

## 【 目 次 】

1. ワークショップの概要	1
2. 自己紹介ワーク	2
3. 課題共有ワーク	
(課題の発見・共有)	3
(次のステップへ向けて)	4
4. 資 料	
わがまち紹介川柳	5 ～ 31
課題分類ツリー	32
課題の一覧	33 ～ 35
取り組みの短冊のまとめ	36

# ワークショップの概要

## 1. 自己紹介ワーク

### 1) 川柳と写真を用いた顔合わせ

参加者がそれぞれ事前に準備したわがまち紹介川柳と、状況写真の資料を用いて、まちづくりのエリア、取り組んでいる仕事について説明し、グループ内相互の理解を深めました。



川柳と写真による自己紹介

広島県福山市  
わがまち紹介川柳

広島県福山市  
福山駅周辺地区

まち再生  
まずは自分を  
リノベーション

- ・新幹線を降りたらすぐに福山城。2022年に築城400年を迎える
- ・空き店舗、空き家の増加
- ・賑わいや魅力の再生に向けた「駅前再生ビジョン」を策定
- ・中心市街地の低未利用不動産及び公共空間を活用した、リノベーションまちづくりからエリアの価値の向上
- ・福山駅周辺を訪れる人の回遊性の向上と賑わいの創出

状況写真

鉄鋼・デニム産業などオンライン・ファッションパーク企業が多く、日本一新鮮緑駅から近い「福山城」や駅の跡など歴史・文化資源が豊富で、備後地域の経済、文化の中心

まちを象徴する原動力となる人材の発掘・育成に向けたリノベーションスクール※福山の開催

福山駅周辺再生の一環で官民連携によるにぎわい創出に向け、今後の公園の新たな使い方を検討するため、中央公園でPark-PFの実証実験を行っています。

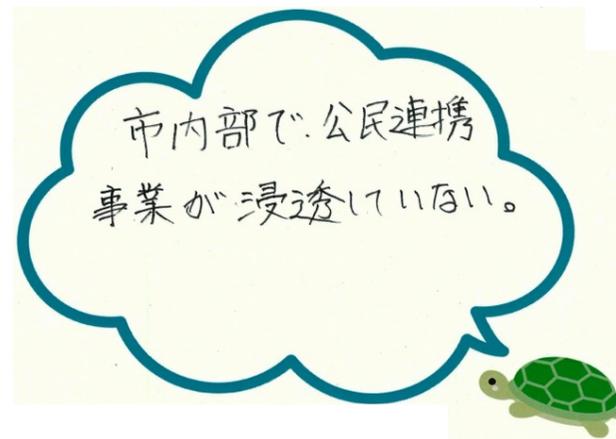
## 2. 課題共有ワーク

### 1) 課題の発見・共有

事前に準備した課題説明用紙で、まちづくりの取り組みに関して、直面している課題や困っている事柄について説明しました。説明された課題をグループ分けし、各課題の重要度を再確認しました。



課題説明用紙による意見交換



### 2) 次のステップへ向けて

課題の解決に向けて、自分自身が取り組んでいきたいこと、取り入れたいノウハウ、工夫していきたいこと等について、それぞれ短冊に書き出し、課題解決へのポイント、参考になる部分など意見交換を行いました。



短冊に取り組んでいきたいことを記入し意見交換



# 自己紹介ワーク（顔合わせ）

参加者の皆さんが、円滑にコミュニケーションできるように、また自分のまちや取り組み、課題について再確認いただくために、わがまち紹介川柳、状況写真の資料を事前に準備し、自己紹介していただきました。

まちの紹介を川柳にすることにより、普段なかなか文章や言葉にできない思いの部分表現していただきました。

はじめは皆さん多少の照れくさはあったようですが、熱のこもったプレゼンテーションをしていただき、グループの意思疎通に大きな効果がありました。

今回の報告書には参加いただいた皆さんすべての川柳を載せています。皆さんのまちを見る視点が凝縮された力作ぞろいですので、ぜひ目を通してみてください。

岡山県 岡山市  
わがまち紹介川柳

岡山県岡山市  
岡山駅東口地区

晴れの国  
みんなが楽しむ  
まち歩き

- ・商業・業務・集客施設が集積
- ・2つの賑わいの核「岡山駅周辺エリア」と「旧城下町エリア」
- ・核を結ぶ「県庁通り」や水と緑が豊かな「西川」でもまちづくり
- ・それぞれのエリアで民間プレイヤーが活躍
- ・人口は増加傾向であるが、低未利用地（特に駐車場）が多くスポンジ化と車社会が進む
- ・道路や公園といった公共空間を活用した賑わいづくりの実践

### 状況写真



# 課題共有ワーク（課題の発見・共有）

課題共有ワークは、①課題の発見・共有、②次のステップへ向けての2部に分け、まちづくりの取り組みの課題となっていること、課題への対応、今後取り組んでいきたいことについて意見交換を行いました。

①課題の発見・共有では事前準備として、亀の吹き出しの用紙に、取り組みに関して直面している課題、困っている事柄について記入してもらい、説明していただきました。ファシリテータが皆さんと話し合いながら類似する課題をグループ分けし、課題の再確認を行いました。

人口減少・高齢化、担当者の熱意、庁内調整、まちづくりのリーダー不在、予算不足等、それぞれの担当者が様々な課題に直面している状況を目の当たりにし、共感することで課題解決の糸口を感じ取っていただけたと思います。

参加者の皆さんに発表していただいたそれぞれの課題をツリー分類しています。まちづくりを進めて行く上で何が一番の課題となっているのか、考えるきっかけにして下さい。



# 課題共有ワーク（次のステップへ向けて）

課題共有ワーク ②次のステップへ向けて では、①課題の発見・共有で確認した内容を受け、課題解決に向けて自分自身が取り組んでいきたいこと、取り入れたいノウハウ、工夫していきたいこと等について、短冊に書き出して説明していただき、取り組みのポイントや参考になる部分などの意見交換を行いました。

個人としてのチャレンジ、行政の適応力改善、地域コミュニケーションの充実、空き地・空き家の活用、まちづくりリーダーとの連携などの様々な提案がありました。

参加者の皆さんの「まちの再生」に対する意気込みを、それぞれの特徴あるまちづくりの取り組みにつなげていただきたいと思います。

短冊に書いていただいた内容を、分類整理しています。今後の取り組みの参考として下さい。

